

指 導 室

教 職 員 係  
指 導 係

# 教 職 員 係

## 1. 職員の状況

### (1) 小 学 校

学校	教科	校 長	教 頭	全 科	音 楽	図 工	家 庭	体 育	養 護	特 殊 学 級	事 務	計	日 本 人 学 校	組 合 専 従	休 職
一 小		1	1	20	1	1	1		1	2	1	29			
二 小		1	1	22	1	1		1	1	2	1	31	1	1	
三 小		1	1	24	1	1			1		1	30			1
四 小		1	1	15	1	1			1		1	21			
五 小		1	1	16		1			1		1	21	1		
六 小		1	1	19	1	1			1		1	25			
七 小		1	1	18	1	1			1		1	24			
計		7	7	134	6	7	1	1	7	4	7	181	2	1	1

### (2) 中 学 校

学校	教科	校 長	教 頭	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体		技 術	家 庭	英 語	養 護	特 殊 学 級	事 務	計	指 導 主 事	休 職
										男	女									
一 中		1	1	3	4	4	5	2	2	2	1	2	2	4	1	3	1	38	1	1
二 中		1	1	5	4	4	4	2	2	3	1	2	2	4	1		1	37		
三 中		1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1		1	20		
計		3	3	10	10	10	11	5	5	6	3	5	5	10	3	3	3	95	1	1

## 2. 人 事

昭和57年度中に異動した教職員

### (1) 小 学 校

事 由	職 名	人 員	備 考
転 出	校 長	2 人	
	教 頭	2	
	教 諭	21	
	事 務	3	
退 職	教 諭	3	
死 亡	校 長	1	
転 入	校 長	3	
	教 頭	2	
	教 諭	19	
	事 務	2	
採 用	教 諭	2	
	事 務	2	
	産休補助教員	6	
	育休補助教員	5	
	講 師	15	

### (2) 中 学 校

事 由	職 名	人 員	備 考
転 出	教 諭	9 人	
	指 導 主 事	1	
退 職	教 諭	1	
死 亡	教 諭	1	
転 入	教 諭	13	
	指 導 主 事	1	
採 用	教 諭	7	
	産休補助教員	7	
	育休補助教員	3	
	講 師	22	
休 職	教 諭	1	

### 3. 給 与 等

市立小中学校教職員給与等のうち、給料諸手当については本市から提出された給与関係通知書に基づき、東京都公立学校電算により支給されるが、講師報酬・教職員旅費については、東京都から本市に執行委任された予算で支給事務を行っている。

昭和57年度中に執行した予算の額は、次のとおりである。

#### (1) 教職員旅費

種 別	人 員	執行委任額	決 算 額
小 学 校	181 人	6,552,000 円	6,527,676 円
中 学 校	96	4,568,500	4,521,112
計	277	11,120,500	11,048,788

#### (2) 講師報酬

種 別	人 員	執行委任額	決 算 額
小 学 校	15 人	7,600,000 円	7,447,355 円
中 学 校	22	10,900,000	10,637,922
計	37	18,500,000	18,085,277

# 指 導 係

## 1. 指導関係事業

### (1) 学校訪問

- 指導主事が随時訪問し、学校長はじめ教職員と協議懇談することにより、学校のかかえる問題点を解明し助言した。
- 要請により、研究会等に訪問し、指導助言した。

### (2) 研 修 会

昭和57年度は次の研修会を開催し、教職員の資質の向上を図った。そのうち一部は東京都多摩教育事務所と連携して行ってきた。

ア 学校経営研修会	4 回
イ 学級経営研修会	3 回
ウ 学習指導法研修会	4 回
エ 人権尊重教育研修会	3 回
オ 安全教育研修会	2 回
カ 道徳教育研究協議会	3 回
キ 中堅教諭研修会	6 回
ク 新任教諭研修会	20 回
ケ 実技研修会	1 回
コ 教務主任研修会	1 回
サ 生活指導研修会	1 回

### (3) 音楽鑑賞教室

市立小中学校児童生徒の音楽鑑賞教室を、オーケストラ、合唱両部門それぞれ各1回、市民会館において開催した。

### (4) 演劇鑑賞教室

市立小中学校児童生徒の演劇鑑賞教室を、次のとおり、市民会館及び小学校体育館（七小）において開催した。

- 小学校 劇団仲間「乞食と王子」4ステージ  
青少年オペラ劇場「笛ふきババゲーノ」1ステージ
- 中学校 前進座「田能久」「花のき村の盗人たち」1ステージ  
劇団ひまわり「俺たちは天使じゃない」1ステージ  
文芸プロダクション「検察官」1ステージ

(5) 教育研究委託

次の教育研究を委託し、教職員の使命の自覚と資質の向上を図った。

ア 福生市教育研究奨励校

福生第六小学校

研究主題「運動を楽しみ進んで体をきたえる子」

福生第一中学校

研究主題「心身障害生徒の創造性の育成」

イ 校内教科等研究校

福生第五小学校

研究主題「本校における愛鳥活動」

ウ その他の研究等

(ア) 学校経営研究委託

(イ) 学校事務研究委託

(ウ) 教科領域等研究委託

(エ) 教育課題研究委託

(オ) 社会科副読本等研究委託

(カ) 教育研究員等の研究委託

(キ) 心身障害教育研究委託

(ク) 中学校保健体育科教育研究委託

(ケ) 音楽科教育研究委託

(コ) 指導主事学校教育研究委託

(ク) 体育実技研究委託

(6) 指導関係資料の刊行

- ア 指導要覧
- イ 研究紀要
- ウ 教務連絡会研究紀要
- エ 心身障害教育推進のあゆみ
- オ 社会科副読本「わたしたちの福生市」
- カ 福生市の地図

(7) 心身障害教育の推進

ア 心身障害学級

昭和47年4月に開設された福生一小のひまわり学級も10周年を迎え、盛大な記念発表会を催し、一層の教育内容の充実を図るとともに、福生二小くまがわ学級（昭和52年4月開設）、福生一中心障学級（昭和51年4月開設）との連携により小・中一貫の充実した心身障害教育を展開した。

57年度末の在級人数は、一小ひまわり学級6人、二小くまがわ学級7人、一中心障学級7人である。

イ 心身障害教育運営委員会

心身障害教育の振興と充実を図るため、市立小中学校の校長、教諭、PTA会長、教育委員等を構成員として、心身障害教育運営委員会を設置している。

また、運営委員会の中に情緒障害教育部、難聴・言語・肢体不自由教育部、心身障害学級担任部からなる実行委員会を置き、調査研究等を行ってきた。

## 2. 教育相談

### (1) 昭和57年度相談件数の概況

	幼児		小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		高校及び有職		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
知能・学業に関するケース	2								1														3		3
性格・行動に関するケース	1		1		1	2			1		2		1		2		4	2	5	1			18	5	23
進路・適性に関するケース	4						1										1	1	2	1	2		10	2	12
身体・神経に関するケース	1				1																		2		2
その他																									
計	8		1		2	2	1		2		2		1		2		5	3	7	2	2		33	7	40

### (2) 終結までの延回数

	1回	2	3	4	5	6	9	10	14	20	21	67	計
件数	11	11	4	2	2	1	1	2	1	1	1	1	38
延回数	11	22	12	8	10	6	9	20	14	20	21	67	220

### (3) 専任教育相談員の配置

昭和56年度までは、毎週火曜日午後しか開室できなかった相談室が、昭和57年度において初めて専任教育相談員1人の配置をみたことにより、開室日を毎週月曜日から金曜日までの5日間午前、午後に拡大できることになった。

よって、相談機能がより一層充実された。